

都農町地域資源マップ

16班

周囲の環境

注意

人の話

問題点・土地柄

ビニールハウス

放置されて、廃れているビニールハウスがあった。この付近に、農地開拓のために雑草刈りをされていた農家の方もおり、これでは非効率だと考えた。使わなくなるビニールハウスや農地を、まだ農業を続ける農家の方に譲ることをできれば、雑草刈りをする必要が無いからだ。新しく農地を開拓する方と、農業をやめる方を上手くマッチングさせて、農地の譲渡を可能にする仕組みがあると良いのではないかと考えた。



名貫川



私たち16班が担当した、篠別府地区の北側を流れる川である。名貫川上流には30余りの滝があり、国指定名勝の尾鈴山瀑布群に指定されている。水が大変綺麗な清流で、橋の上から清流にしか住まない魚「カジカ」や多くの小魚をみる事ができた。

農地周辺



田畑の近くには農業用水路が張り巡らされていた。水路を流れる水は透き通っており、とても綺麗だった。また、国道沿いにはビワなどの実が成っている木があったり、他にも竹林が近くにあったが倒れている竹が数本放置されていたため手入れをされていないと考えられる。

太陽光パネル

太陽光パネルが多数設置されていた。都農町は、2009年4月に国際航空ホールディングス株式会社(現日本アジアグループ株式会社)との間に「メガソーラー事業に関するパートナーシップ協定」を結んでおり、その影響と思われる。(miyazakisolarway.com) 宮崎県は、快晴日数全国2位、日照時間全国3位(1981~2010,気象庁)であり、その利点が活かされていると感じた。



上名貫神社



小さな神社だが提灯奉納や公式LINEを運営しており各種出張祭典も行っている。訪れた人が書く名簿があったがあまり書かれていなかったため、訪れる人は少ないのではと思った。また、周囲には防災無線や篠別府宮農研修館という建物、地域のゴミ捨て場があり地域の人が集まる場の一つになっているのではないかと考えた。

地蔵・祠など



住宅街で二つお地蔵さんを見つけた。古くて顔が潰れていたり、造花が置いたある地蔵やコップが散乱してあったりと状態は様々であった。周辺には屋敷神を祀っていると見られる祠もあったため信仰心や宗教的な考え方が残っていると見られる。

勾配の急な坂道



頂上からの写真

坂下からの写真

住宅地から田畑へ向かう道が急な下り坂になっていた。予想していたよりも距離が長く、車で通る場合は勿論、歩いて通る場合も、特に高齢者などには危険であると感じられる坂道だった。この地域も高齢化が進んでいるため、田畑へ向かうための道が危険なままだと農業をやめる人がより多くなると予想する。

農家の方から伺ったお話

水田を整備していた農家の方にお話を伺うことができた。その方からは、以前にブドウや桃も栽培していたが採算が合わなくなり栽培をやめられたこと、高齢化や後継者不足でどんどん農家がいなくなること、コンバインなどの高価な農業用機械を使用する場合は委託して経費をおさえていることを教えて頂いた。また、ビニールハウスでキュウリを仕分けしていた農家の方からもお話を伺うことができた。ビニールハウスでは、3月と9月にキュウリを植えて二期作のように栽培していること、都農周辺のビニールハウスはキュウリやトマト、ブドウを栽培していることが多いと仰っていた。都農の主たる産業は農業であると思うが、今回の実習では、その農業が抱える高齢化・担い手不足、収益性が低い、労力に見合わないといった課題をまじまじと感じた。

感想

私たちの班が実習を行ったエリア外、都農町周辺では、中央児童公園で小学生くらいの女の子たちが、ブランコなどの遊具で遊んでいる様子が見られた。また、自転車に乗った女の子たちが、私たちに元気に挨拶をしてくれたり、ランニングをしていた若い男性が声をかけてくれたりと、若い住人の方とすれ違うことも多くあった。一方、私たちの班が実習を行ったエリアでは、住宅地でも人とすれ違うことはなく偶に車を通る程度で、田畑で2、3人の農家さんに出会うことができただけでも幸運だった。田畑を通る車は高齢者マークをつけているものが多く、高齢化が深刻になっているようである。都農町内でも人口減少や高齢化、また、古くからの信仰が特に顕著な地域であったように思う。田畑や竹、太陽光パネルが多く日陰や休憩できるお店があまりないため、天気の良い日は歩いて回るのには厳しいかもしれない。かつて人が住んでいたであろう家や、牛などの家畜がいたはずの小屋が荒れ果て、物置のようにそのまま放置されている所も、ハウス同様多かったように思う。人の手が入らなくなり、時間とともに荒れて、放置されたままの建物や井戸などをどうしていくかも課題であり、資源につなげられる可能性もあると感じた。田畑と住宅地をつなぐ道の一つは急な坂で、地域の高齢化が今よりも進めば、住民にとってより危険度が高まるように思う。歩く場合は国道沿いの道を通るのが一番安全だと感じたが、この地域にたどり着くまでの道が少なく、いずれの道であっても車がないと移動が困難である点も、人口の減少やこの地域の孤立に拍車をかける要因になりえると考えた。